

【めむろ未来ミーティング日程 12】

令和5年1月14日(土)

10:00～11:13

めむろード(午前の部)

■参加者 23人

■芽室町 町長、副町長、教育長、政策推進課長、魅力創造課長、商工労政課長、政策推進課長補佐

■記録 広報広聴係

■対応・検討が必要な事項

- ①独居老人のその後の空き家対策について(都市経営課)
- ②総合体育館、プール建替えへの利用者からの意見聞き取りについて(生涯学習課)
- ③高齢者の運動スペースについて(生涯学習課)
- ④公共施設の高齢者の割引について(総務課)
- ⑤高齢者へのコミバス無料券について(政策推進課)
- ⑥高校生への医療費無償化について(子育て支援課)
- ⑦除排雪状況のLINE配信について(環境土木課)
- ⑧道道の雨水樹詰まりと点字ブロック破損について(環境土木課)
- ⑨じゃがバスバス停の除雪について(政策推進課)
- ⑩キッズスペース整備について(子育て支援課)
- ⑪大和福祉館の屋根の老朽化について(都市経営課)

1 開会

2 町長挨拶

3 町からの説明事項

資料1 公共施設等再配置構想

資料2 まちなか再生の取り組み

資料3 3回目コロナワクチン予防接種

資料4 芽室町 LINE 公式アカウント説明書

4 意見交換

【意見】

大和福祉館について、無くなるという説明が以前あったが、その後どうなっているのか。

マイナンバーカードについて、良いところだけが強調されているが、盗難や紛失などで個人情報が出回るリスクもある。そういったデメリットも説明してほしい。

①独居老人で亡くなった方の空き家に対して町はどう考えているのか。

【副町長】

大和福祉館の件。耐震基準を満たしていない古い建物なのでいずれは整備しなければならない。手法としては、他の施設と集約する、あるいは改修するという考え方もある。今、農村部から順次、再整備を進めている段階。市街地はこれからとなる。改めて、今後地域の皆さんとの協議になる。もう少しお待ちいただきたい。

マイナンバーカードの件。健康保険証、国等からの手当等の交付、運転免許証などを紐づけをする仕組みを国として進めているところである。世の中の流れとして、このマイナンバーカードが生活するうえでの必需品になるように現在国が動いている。

現状はなかなか将来的なメリットを感じられないこともあると思う。

ただ、すでに町内でも、公立芽室病院や歯科医院薬局の一部で利用が可能。また確定申告の際、カードがあることで、医療費控除申告が簡単に終わるという仕組みもできている。強制はできないが、将来的には、持っていて損になることはないだろうと思っている。カードについての紛失についてリスクがないとは言えないが、将来的なメリットも考慮してカード取得について判断していただきたい。

独居高齢者のその後の住宅の件。空き家が長期間残されるというのは、環境的に良くない。個人の財

産であるため、町が直接的に、売買に関わることはならないが、もしその所有者が困り感を持っているならば、町としてアドバイスはできる。こういった具体的な事例があれば、個別に相談していただきたい。

また空き家が増えている状況は良いとは思っていない。現在、まちなか再生の議論でも、まちなかに人が集い、賑わうようなまちづくりという視点で進めている。

【町長】

マイナンバーカードは賛否両論ある。国が積極的にすごい勢いで進めている。問題なのは、カードを持つことで、どのように生活が便利になったり、メリットがあるのかが具体的にみえないところだと思う。国では、住民窓口を中心として17の手続きを早くデジタル化するように言ってきている。サービスの基盤ができれば、住民票のコンビニ交付であるとか、あらゆるもののデジタル申請ということも可能になってくる。

デジタルの世界というのは非常に早く進む。色々な意見はあると思うが、自治体として遅れをとらないように進めていきたい。ただ、それぞれの考え方によるので強制するものではない。

【意見】

以前に、市街地の東西南北ひとつずつ地域会館を作るという話があった。いつ、どこに東の方を整理するのか。

【副町長】

今ある古い会館をずっと維持していけるかという、老朽化、耐震性、維持管理費用を考えると難しさがある。また、管理人の確保という課題もある。町としては、できれば東西南北に集約したいという大きな思いはあるが、それぞれ地域の事情がある。東地域福祉館も廃止が決定しているわけではない。地域コミュニティを維持するために、こういった場所にこういった施設を整備していくのが良いのか、今後地域の皆さんと相談していく。

【意見】

一心町の会合は、東地域福祉館ではなく公民館を利用しているのが現状である。

【副町長】

てつなん地域も、南コミセンはあるが、一部でめむろーどを使用しているという事例もある。そういった実態とすり合わせながら、再整備の検討を進めていきたい。

【町長】

現在、農村部から先に再整備を進めている。今後、市街地の再構築に入る。町としては再整備に係る基本的な方針というのはあるが、当然、地域の声をしっかり聴きながら進めていかなければと思っている。今後話し合いの場が持たれると思うので協力願いたい。

【意見】

②プール、体育館の整備の件。町では任意の町民のアンケートは実施しているようであるが、実際の利用者の声を聞いていないのではないかと。料金設定に関しても、利用者の意見を反映しないまま、委員会にも提案されているように感じる。こういう進め方はどうか。

③トレーニングルームをキッズスペースにする件。これは、どの意見をもとにやっているのか。芽室町の高齢者には卓球が好きな人がたくさん居るが、卓球台はたくさんあるのに、常時設置できる場所がないという実情もある。高齢者が気軽に運動できる場所をもっと増やしてほしい。

④また公共施設の利用に際し、中学生以下、障がい者には免除規定があるが、高齢者への割引はない。高齢者に厳しすぎるのではないかと。

⑤コミバス無料券の件。運転免許返納の高齢者に対して、コミバス一年間無料券を配布しているが、これ

では免許返納率は進まない。帯広市は70歳以上は生涯使える無料バス券が配布されている。芽室町の高齢者に対する施策をもっとしっかりしてもらいたい。

【町長】

町の施策を担うトップとして、しっかりと声を受け止めたいと思う。

高齢者に向けた施策の件。どの世代、どの利用者にプラスのサービスを行うかは政策全体を見て考えなければならないこと。決して子育て世代だけを見てやっているわけではないが、どうしても政策としてはそちらが目立つ印象となるのかなと思う。これからシニア世代は増える。いきいきとした生活のためには高齢者の皆さんにも元気になってもらわなければならないと強く感じている。

4月からスタートする総合計画の後期計画の中でも、高齢者の施策もしっかり盛り込んでいるので、きちんと考えながら進めていきたい。

プール利用料の件。委員会での説明後も様々な意見が出ていることも承知している。その後、負担を軽減する方法について現在検討中。

ただ、6か月券などについては他市町村や施設の維持管理を考慮してもあまりにこれまでが低すぎたという部分もあるので、一定程度の値上げはやむを得ないと考えている。金額設定について、改めて提案できる状況になれば、議会も含めて皆さまにお示ししていく。

公共施設の在り方について、利用者に相談がないという件。これまで、競技団体との意見交換を行いながら設計の検討はしてきている。しかし、それが利用者全体に話を聞いてないのではとの指摘であれば申し訳なく思う。

【意見】

⑥子育て世代も、物価高騰、教育費高騰などによる生活への影響が大きい。

高校生までの医療費無償化について、現段階での

検討状況・実現の可能性はどのようになっているか。

⑦帯広市で除雪状況を地域別で、LINE 配信している。こういったことの町の検討状況は？

【町長】

高校生までの医療費無償化の件。昨年の7月選挙時での公約にもしている。また総合計画の後期計画にも盛り込んでいる。

予算提案前に明確に言える段階ではないが、次年度予算に提案する方向で検討しているということだけお伝えしたい。

LINE 配信の件。帯広での除雪状況についてのLINE を使った情報発信はとても良い事例。参考にしたい。

いま、町では 災害情報や道路の損傷など、LINE を使って場所の連絡や現場写真を送って通報できるようになっており、その情報に基づき担当課が対応する仕組みとなっている。他にもゴミや枯れ葉収集などについても LINE を通してできるようになっている。今後も、さらなる機能を増やしながら LINE の有効活用を考えていきたい。

【意見】

新嵐山の敷地にあるワインナリーの隣の空き地の利用方法はどうなっているのか。

旧キャンプ場は、今後どうなっていくのか。というのは、新嵐山の PG 場が縮小となり、今まで利用していた高齢者が南 PG 場まで出て PG を行っているような状況と聞く。

③体育館にキッズスペースを整備し、子どもたちの遊び場については充実させていくようだが、シニアに対してはどのように考えているのか。

⑧以前から町には伝えているが、南小学校から町にまっすぐ来る道道の雨水桝が埋まっていて、農家さんの畑に水があふれている。この対応はどうなっている

のか。点字ブロックの破損も以前から指摘している。

【副町長】

新嵐山のワイナリーの件。もともとは新嵐山スカイパークを魅力ある場所にしていきたいということで、民間からのアイデアを募集し、あの場所にワイナリーが建ったという経過がある。ほかにも空いているスペースもあるが、新嵐山の活用計画のなかにオートキャンプの整備という項目もある。そういった事も踏まえながら、土地の利活用を検討していきたい。

旧キャンプ場の件。平成28年の災害を受けて以来、使えない状況となっている。再整備も検討したが費用対効果も含めて、今後の利用についてはまだ計画にはない状況。新嵐山活用計画の見直しについて、現在、検討会議で議論いただいております、その中での新たなアイデアも含めてどうしていくか検討していきたい。

新嵐山のPG場の件。ファミリー層に向けた新たな魅力創出ということで、キャンプ場やドッグランを整備するため、PG場の縮小は苦渋の決断ということで踏み切った。

南PG場の混雑も把握している。町にはほかのPG場もあるので、全体バランスを考えながら皆さんに楽しんでもらえるPG場整備を目指したい。

雨水桝、点字ブロックの件は個別に対応していく。

【意見】

ワイナリー横の空き地(元テニスコート)に積まれているゴミはどうするのか。

【副町長】

昨年、強風で相当の木が倒れた際の風倒木の枝葉を積んでいるような状況。春になれば整理していきたい。

【意見】

去年からのゴミではなく、数年前から話をしている

のになぜまだ片付いていないのか。

【町長】

ゴミの現場については、今一度、確認して対応していきたい。

高齢者に対するサービスの件。高齢者に対しては、健康や生きがいの提供が重要だと考えている。ニーズも色々と多様化してきている。すべて対応するのは現実的になかなか難しいが、昨年の組織改編の中で高齢者支援課という高齢者施策の専門部署も新たに作った。そこで、保健医療福祉の基盤を整え、高齢者に目を向けている体制はできている。どちらかというと足りないのは高齢者の生きがいづくりなのではと思う。これは生涯学習の分野。いかに生き生きと健康で過ごせるか、生涯学習に力を入れなければならないと強く感じているところである。この分野についてもっと向上させていきたい。

【意見】

インフルエンザのワクチン料金が1,800円。他町村よりも高い。接種料金への補助はないのか。

職員採用の件。これから3月に向かって退職があると思うが、できるだけ臨時職員(現会計年度任用職員)ではなく、正職員として任用してほしいと思う。働く者の立場となれば、正職員と臨時職員では気持ちの持ち方が全然ちがうと思う。

【町長】

インフルエンザ助成の件。他の会場でも同様の意見があった。町全体の政策のなかで、どうしていくのか考えなければならない。他にも障がい者を対象とした減免希望の声もある。次年度については、現行どおりというのはご理解願いたい。6年度に向けての検討課題としたい。

正職員の任用の件。これは組織内の人事であることから、町民の皆さんにいわれて変えるものではないと考えている。ご意見としては承るが、人事の考え

方については副町長からお話する。

【副町長】

法改正により、公務員の定年が60歳から65歳に延長となった。制度上、60歳になった時点で役おろしとなる。そのときに正職員か臨時職員かまたは退職かは個人の選択。退職となった場合は、当然正職員を補充していく。役場業務が滞らないように適正な人員管理を行っている。ご理解いただきたい。

【意見】

⑨じゃがバスのバス停の除雪の件。町の除雪は道路から歩道にかきわけていくので、バス停は埋まる。バス停周辺の雪を除けてもらうことはできないか。自分の地域は、バス停が2か所あってパートナー事業で除雪しているが、担っているのは高齢者。あの作業をして、1シーズンで3,000円では、引き受けてくれる方に申し訳ない。なんとか除雪の際に少しでもきれいにしてもらえないだろうか。

【副町長】

じゃがバスのバス停は、自宅から200メートル圏内という設計のもと、市街地に60数か所設置している。中通りも通るとというのが芽室の特徴であり、そこまで除雪が行き渡っていないというのはご指摘のとおりかと思う。じゃがバス導入時は、路線もバス停の位置も町内会と協議のうえ決めた経緯があるが、それから10年が経過している。そもそもバス停の管理はだれがやるべきか、仕事として担ってもらうか、地域で支えていくのか、再整理が必要。道路の除雪の際に配慮ということであるが、場所の特定等も含めて、除雪作業全体に遅れがでることも否めない。それも含めて再整理していきたい。

【意見】

⑩総合体育館のキッズスペースの整備の件。どのような段階を踏んで整備していくのか、できれば利用する世代の声を多く聞いてほしいと思う。

【町長】

子育てをテーマとしたオンライン未来ミーティングでもお子さんの冬等の遊び場の確保について話題があがり、町としても市街地においてそういった場所がないか探した経過がある。そんな中、体育館内のトレーニングルームが勤労青少年ホームに移ることから、その空いたスペースを活用できないかという発想での提案となった。今後、具体的な使い方や、設置する遊具などについては、保護者の皆さんや子育て団体と積極的に話し合いを進めたいと考えている。

場所自体を変更するという可能性はゼロではないが、公共施設全体をみたときにあの場所に整備していきたいというのが町の考え方であることをご理解いただきたい。

【意見】

めむろ未来ミーティング。こういった場で、直接意見交換できるのはすごく良いと思う。町の公式LINEも双方向でのやり取りができる仕組みでとても進んでいると思う。

除排雪の件。交差点の雪が高くなっているところが多い。危険な状況なのでなんとかしてほしい。

農村部の農協支所の活用の件。農村に行くと農協の支所だった店舗が閉まっていてひと気がない。あいった場所に人が集まれるようなスペースがあるとその地域が活性化するのではないかな。

新嵐山の件。たくさんの若い人たちが町に寄ってくるのは非常に良いこと。一方、地元の人も大事。新嵐山までのバスの整備などあったらよいのでは。

【町長】

交差点の排雪の件。特に市街地は細い道路はなかなか排雪が進んでいない状況。まずは幹線道路を優先に進めている。順番に、細い道の排雪も進めていきたい。ご指摘にあるような危険性は認識している。担当課もスケジュールを組んで計画的に進めているところである。自分のところがいつ排雪になる

のか、そういった情報発信も大事であると考えている。

農村部の農協支所の件。民間ベースで、北伏古も一時運営していた流れはある。行政としてできる地域ユニティ推進策として、現在農村部の地域集会施設の整備を行い、地域コミュニティの拠点づくりを進めている。そこに、おっしゃるような商業施設がついてくると賑わいもできるというものもあるかもしれないが、行政主導ではない動きとなる。

新嵐山の件。自分ごと化会議で 46 人のメンバーで検討を進めている。その議論等を参考にしながら、今後の新嵐山をどうしていくか考えていきたいと思っている。人が集まり賑わう魅力ある場所にしたいという思いが原点。スキー場をどうする、宿舍をどうするという意見もあるかもしれない。町としては、一度フラットな状態で新嵐山活用計画の見直しを進めいく。いまま会社として色んな工夫もしているが、今後も町民のみなさんにもご理解をいただく形で進めていきたいと思う。

11 時 13 分終了

【ご意見フォームからの意見】

今回から、当日発言できなかった方たちのために QR コードから意見を述べられる仕組みを設けました。

以下は、その QR コードから頂いたご意見等となります。

1. ⑪大和福祉館の南向きの屋根が、錆びついていて今にも雨漏りや穴が空くのではないかという状態。塗装修理をしないのは、今後の会館の存続が決まっていないからなのか、それとも屋根の状況を知らないからなのか。



（1／14 AM めむろーどでの様子）